

# 順天堂医院 ニュース 2002

順天堂医院医療連携室  
No.3

## 目次

- 1ページ：新任教授紹介
- 2ページ：特集「インフルエンザ」
- 3ページ：薬剤部紹介
- 4ページ：お知らせ

## 新任教授紹介



心臓血管外科 天野 篤

成人・小児の心臓手術に加えて最近増加している大動脈瘤など血管疾患についても積極的に手術を行っています。特に最も多い冠動脈バイパス術は、ほとんどが人工心肺を使用しない心拍動下に施行され早期回復に貢献しています。また、全ての手術で、可能な限り手術の傷を小さくするような工夫を惜しまないように努力しています。

脳神経外科 新井 一

このたび、脳神経外科教授に就任した新井 一と申します。脳神経外科では、脳や脊髄に発生する腫瘍、血管障害、先天性疾患、外傷などを扱っております。手術による治療が基本ですが、患者さまのご希望やQOLを考えてその他の治療法を選択することにも留意しています。軽い頭痛などの症状の裏に、大きな病気の隠れていることがあります。お気軽に、脳神経外科外来を受診下さい。



肝・胆・膵外科 川崎 誠治

専門は、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓の腫瘍性の病気に対する外科治療です。特に、治療が困難とされる肝臓に近いところに発生した胆管癌の手術を積極的に行い、良好な短期成績、長期成績をあげてきました。さらに、これらで身につけた手術の手技、考え方を応用して、生体肝移植、脳死肝移植にも取り組んできました。

# 特集 インフルエンザ



Q:インフルエンザ？それとも風邪？

A:毎年冬になるとインフルエンザが流行します。インフルエンザは普通の風邪と違い38度以上の高熱や倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然出現するのが特徴です。

Q:インフルエンザに罹らないためには？

A:インフルエンザに罹らないようにするには、普段の手洗いうがいに加え、ワクチンを接種することが重要です。

Q:昨年もワクチン接種したんだけど・・・？

A:ワクチンは毎年接種する必要があります。年によって流行するウイルスの型が違ってくるからです。また一度ワクチンを接種しても効果は数ヶ月間しか持続しません。

Q:いつ接種すればいいの？

A:ワクチンを接種してからウイルスに対する免疫が出来上がるまでに数週間かかるので、出来れば11月から12月の初旬までに接種することをお勧めします。

Q:1回でいいの？

A:以前は2回接種していましたが、現在では成人では1回の接種で十分な免疫が得られることが分かってきました。従って13歳以上の方は1回だけで構いません。



Q:私も打ったほうがいいの？

A:一度罹ると重症化しやすいご年配の方や糖尿病を患っていらっしゃる方、ステロイドなどの免疫を下げる薬を服用中の方は、特に接種されることをお勧めします。なお過去にワクチンでアレルギーが出たことがある方、卵に対するアレルギーがある方はワクチンの接種が出来ないことがあるので注意して下さい。

Q:万が一インフルエンザに罹ったら？

A:昨年よりインフルエンザに対して吸入薬リレンザ(一般名ザナミビル)と、内服薬タミフル(一般名オセルタミビル)という薬が発売されています。どちらも5日間使用します。一度インフルエンザに罹ると4~5日間高熱が続きますが、これらの薬を使うと熱の期間が短くてすみます。ただし熱が出始めてから48時間以内に使い始めないと効果がないといわれていますので、「インフルエンザかな?」と思ったら、出来るだけ早く病院を受診して下さい。

総合診療科  
磯沼 弘、山口 正純



## ワクチンの接種について

インフルエンザワクチンの接種を希望される方は、担当医にお申し出ください。また、当院受診が初めての患者さまは、総合診療科でインフルエンザワクチンの接種を行います。

# 薬剤部の紹介

薬剤部(薬局)は医師が処方した薬剤を正確に、できるだけ早くお届けし、皆様がご自分らしい生活を送れるようにと願っております。



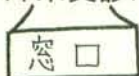
部長 伊藤 澄信  
(総合診療科教授)

## ①院内調剤について

院内調剤は医師の処方後、一人の薬剤師が処方箋をみて薬物相互作用や投薬量などのチェック、薬袋を発行し、別の薬剤師が薬剤を取り揃え、さらに別の薬剤師が薬袋に入れた薬剤をもう一度チェックし、3人の薬剤師が協力して処方ミス、調剤ミスを無くすことに全力を注いでおります。当院では薬剤の処方量に応じて自動的にAとBの組に分けさせていただき、薬剤量の少ない方にはできるだけ早く対応させていただくようにしております。薬の引き換え番号に記載されておりますBの組は錠剤5種類以下の処方箋、Aの組はそれ以外の処方箋と自動的に区分した上で調剤をしております。Aの組は散剤(粉薬)や外用剤(塗り薬など)の調合などで調剤に時間がかかることが多く、お一人の方の調剤をするのに1時間以上のこともあります。Aの組でも散剤(粉薬)1種類の方などは比較的早く調剤できるため、出来次第お渡ししていますので番号通りにはなっておりません。

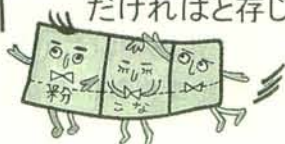
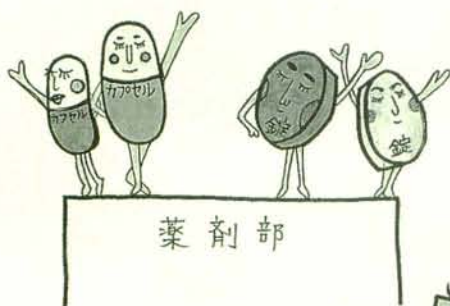
## ②院外処方について

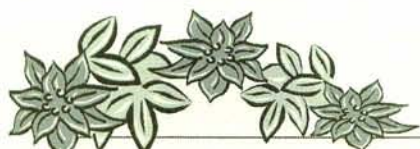
医薬分業が推進され、東京都では保険薬局で調剤される薬剤の割合が約60%程度になっております。近くに保険薬局が物理的に作れない、大学病院故に特殊な薬剤も使用される、患者さま方の費用負担が少ない(錠剤3種類30日投与で自己負担650円程度)などの事情を勘案し、当院では院内調剤を続けております。複数の医療機関を受診されている患者さまには当院薬剤部では薬の相互作用なども判断できませんので、保険薬局をご利用されることも有用だと思われれます。院外処方箋の発行は外来受診時に担当医にお申し付けいただきますようお願い致します。



## ③お薬相談窓口について

外来薬局カウンターに「お薬相談」窓口を設け、薬に関するご相談に応じております。現在、11病棟の入院患者さまに対しては病棟専属の薬剤師を配置しております。順次拡大する予定ではございますが、担当薬剤師が配置されていない病棟の患者さまにおかれましては、1号館薬局カウンターの「お薬相談」窓口をご利用下さい。なお、月～金曜日の9時～17時までは医薬品情報室(電話:03-5802-1177、担当:南)もご利用いただければと存じます。





## ペイントをしました

病院アメニティー（病院環境の快適さ）の向上を目的として、10月13日（日）午前10時から入院患者さま、職員およびそのご家族が多数参加され、2号館地下1階および1階の一部の壁に、観る人の心があたたかくなるような絵を描きました。お時間のある方は是非ご覧ください。



## 休憩場所ができました

1号館1階エレベーターホール前と3号館1階に休憩場所ができました。3号館1階は飲食ができるコーナー（全28席）になっており、テーブル席が16席、洗面台もあります。是非ご利用ください。

## 年末年始のご案内

当院では、年末・年始の外来診療を下記の期間休診いたします。

**12月29日（日）より1月3日（金）までの6日間**

### ○ お薬について

上記休診期間にお薬がなくなる場合は、12月21日（土）より12月28日（土）までの間にご来院のうえ、お薬をお受け取り下さい。

休診期間中に症状が悪化して、受診を希望される場合は、予め順天堂医院の年末・年始休診日の代表電話（03）3813-3131番（救急室・内線5816、5817番）へ氏名・科名・診察券記載のID番号を伝えていただいた後、診察券および保険証を必ずご持参のうえご来院下さい。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷3-1-3

TEL：03-3813-3111（大代表）

ホームページ：<http://www.tokeidai.co.jp/juntendo/>

